



～本州最南端の海を守る庁舎として～

■ 配置計画

～担当海域への最大限の眺望を確保し、連携のとれた迅速な業務を支援する～

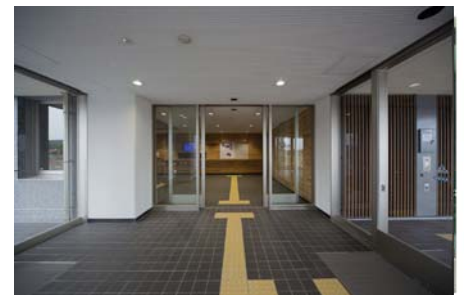
- ・計画地は、本州最南端にある和歌山県串本町の沿岸部にあります。高台であることから、串本海上保安署の担当海域を一望できる立地です。その開放的な敷地環境を活かし、執務室から巡視艇や担当海域への視認性を最大限確保した、海の安心安全を守る機能的な海上保安署を実現する計画とします。



■ 内装・設備計画

～林業の盛んな和歌山県、その沿岸部に建つ施設として～

- ・エントランスホールは、水平ラインを基調とした木質空間とし、職員及び来庁者に温もりや安心感を与えます。
- ・沿岸部であることから、塩害対策として除塩フィルターを設置し、居室への給気を一元的に山側から行う計画とします。



■ 立面計画

～海を見守る海上保安署としての顔をつくる～

- ・庇によって連窓部分を強調し、海を見守る海上保安署としての開放的なイメージをつくります。
- ・周囲の山並みや海の景観が持つ穏やかな水平ラインを、南面の連窓や庇により意匠に反映し、自然環境と調和した地域の景観づくりに貢献します。



〈建築概要〉

施設名称：串本海上保安署  
 所在地：和歌山県東牟婁郡串本町サンゴ台783-9他  
 用途地域：都市計画区域内（地域指定なし）  
 構造規模：鉄筋コンクリート造 地上2階  
 設計：株式会社 岡本設計  
 設計監修：近畿地方整備局 営繕部